

新しい言葉：使い方

1. 各章の「新しい言葉」を導入する前に

モニターからスクリーンにスライドショーを出して見せることで、生徒がどれくらいの言葉を習得しているか、現段階の状態を確認することができます。スライドによっては、言葉の意味を想像させたり、似ている言葉や漢字について話し合ったりして、新しい言葉を何かに関連させて、印象に残るような進め方をします。生徒がすでにもっている知識に結びつけて語彙を増やすことで、学習意欲を刺激し、関心を高めることによって、定着度が増します。

2. 各章の「新しい言葉」を導入した後

生徒が各自コンピューターを使える場合は、このパワーポイントをスライドショーにして、生徒ひとりひとりのペースで言葉の読みと意味を確認しながら練習できます。例えばライティングなど、終了するのに各生徒のペースが異なるタスクをする場合、そのタスクを完了した生徒からこの練習をさせると時間のむだがありません。

生徒がコンピューターを使えない場合は、スクリーンでスライドショーを見せ、クラス全体で言葉の読みと意味を練習します。生徒の反応を見ながら、口頭で何回か練習した後、ひらがなと英語の意味をノートに書かせて確認するなど、スライドを見て読むだけでなく、書くアクティビティーを加えて変化をつけます。

3. 各章の「新しい言葉」を宿題で練習する場合

生徒はオンラインで自分のクラスのファイルにアクセスして、パワーポイント「新しい言葉の練習」を開けて、スライドショーにして練習します。宿題に出す前に、授業でスライドショーを使ってみて、問題がないことを確認してください。また、授業を欠席した生徒にも、必要であれば、指示して練習させることもできます。